

図・書・紹・介

・当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。
 【貸出しのお約束】・1人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時
 ※時間外の返却はセンター入口横のポストをご利用ください。



『自衛隊防災BOOK』
 マガジンハウス（編集）
 自衛隊 / 防衛省協力

◆自衛隊の方々が実践している防災に役立つ知識が詰まっている。車の雪の落とし方、使い捨てカイロの再利用、防災グッズの揃え方など。



『群馬県女性団体連絡協議会創立40周年記念誌』群馬県女性団体連絡協議会発行

◆24団体からなる群馬県女性団体連絡協議会の40周年記念誌。女性の地位向上等や男女共同参画の実現を図るため活動している各団体の概要や歴史の記録。
 ※希望者には送付可。



『総務部長はトランスジェンダー 父として女として』岡部 鈴 / 文藝春秋

◆50歳まで男性として過ごしてきた著者。ふとしたきっかけで女性として生きることに決め、社内でカミングアウト。しかし家庭内では男性のまま、毎朝トランクルームで女性に変身し出勤する体験記。



図書コーナーをご利用ください

●男女共同参画に関する書籍のほか、話題を呼んだ一般書籍（ex.「銀河鉄道の父」）や絵本も多く取り揃えております。ぜひお立ち寄りください！

ひとりで悩まないで…
 気軽に相談を…



女性専用電話相談です。
 相談は無料で秘密は厳守します。

とらいあんぐるん相談室

電話 027-224-5210

●相談日と時間

	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
13:00～16:00	○	○	○	○	-	-

・年末年始（12/29～1/3）、祝日、月曜日は休み ・月曜日が祝日の場合、火曜日も休み

【相談内容】家庭の問題の他、女性の自立や能力の発揮、性差に関する悩みなど…

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センターのご案内



●お車で越しの際は、県内「県民駐車場」をご利用ください。（2時間まで無料）

●開館時間：火～金 9:00～21:00
 土・日・祝 9:00～17:00
 ●休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は直後の平日）
 12月29日～1月3日

〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
 電話 027-224-2211 FAX 027-224-2214
 メール sankakuse@pref.gunma.lg.jp



センターHP
 QRコード

●研修室の貸出しを行っています。

詳しくはホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。



●大研修室《半日：3,600円》 ●中研修室《半日：1,640円》

●編●集●後●記●

昔の前橋は、厩橋（まやばし）と呼ばれていましたが、江戸時代に前橋に地名が変わりました。群馬県庁舎は、厩橋（前橋）城本丸跡地に建設され、庁舎の北側には江戸時代当時の土塁が残っています。県庁舎の西側にある「ぐんま男女共同参画センター」も、厩橋（前橋）城二ノ丸跡地に建設され、江戸時代には寺社が建っていたそうです。また、センターの北には櫓台がありました。

残念ながら遺構はあまり残っていませんが、「関東七名城」に数えられた名城ですので、城跡見学のついでにセンターに、センターに来たついでに城跡見学をしてはいかがでしょうか。（弾正忠）

とらいあんぐるん

ぐんま男女共同参画センター通信

2018年12月

No.52



ぐんま男女共同参画センター
 〒371-0026 群馬県前橋市大手町1-13-12
 TEL: 027-224-2211
 FAX: 027-224-2214
 メール: sankakuse@pref.gunma.lg.jp

～男女共同参画社会の実現を目指し活躍する人たち～

インタビューコーナー 第26回

セクシュアルマイノリティ支援団体 ままだ ひさな ハレルワ 代表 間々田 久渚さんに聞く

～LGBTだけでなく、いろいろな人がいて当たり前～



●プロフィール 間々田久渚さん
 群馬県渋川市在住、webデザイナー。群馬大学教育学部卒。2016年よりハレルワの活動に参加し、同年12月から代表となる。トランスジェンダーである自分自身の経験を伝える講演会やセミナーなどを県内で多数開催。

《「LGBT」とは》

「LGBT」とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を並べた略称です。

「ハレルワ」は、「LGBT」等の性的少数者について、多くの方に正しく知っていただくために県内で活動しているセクシュアルマイノリティ支援団体です。

●ハレルワの活動について教えてください

一番の軸となっているのが、当事者の居場所づくりです。ハレルワ発足当時から月1回の交流会『ハレの輪』を高崎市内で開催しています。中高生から70代と幅広い年齢層、様々なセクシュアリティの方に、現在まで延べ400名参加していただいています。初めて参加される方とリピーターの方の割合は半々ですが、初対面でもみなさん楽しく交流されているのが嬉しいです。

●ハレルワ発足のきっかけは？

県内に活動している団体がなかったため、当事者3名で「自分たちでつくるか！」という事になりました。ツイッターなどSNSを活用して呼びかけ

たところ、10数名がメンバーとして参加してくれました。ミーティングを重ねていくうちに自分たちの居場所ができ、もっと多くの人の居場所にしたいという思いから、交流会ができていきました。

●活動を通じて、当事者が直面している問題について教えてください。

交流会で感じるのですが、本当の自分の気持ちを言えずに抱え込んでいる人や、抱え込みすぎて心や体を壊してしまう人が多いことです。

本当の自分を隠さなければならないことが一番つらいことだと感じています。

●では、どういう社会になっていけばいいのでしょうか。

極論で言えば、ハレルワという団体がなくても、居場所がある社会です。交流会でしか本当のことを話せない、自分の気持ちをオープンにできない当事者が多いのです。日常生活でカミングアウトできないのが現状です。「LGBTだけでなく、いろいろな人がいて当たり前」が認められる社会が理想です。

●間々田さん個人のカミングアウトについて

中学高校では好きな女の子に告白できなかったり、いじめに遭ったりと苦しい思いをしましたが、理解ある何人かの友人が心の支えとなりました。親へカミングアウトした当初、両親は非常に戸惑っていたようで、すぐには受け入れてもらえませんでした。時間をおいて、徐々に理解してくれたようで、今

では、一緒に暮らしているパートナーを連れて実家に帰ると温かく迎えてくれるなど、良い関係を築いています。やはり、受け入れるのには時間が必要だと感じました。

大学時代はカミングアウトというよりは、ただ男性として扱ってもらうため髪型・服装・態度など男性として振る舞

事を意識していましたが、『彼女』と呼ばれてしまったり、『ボーイッシュな女性』止まりになってしまったりする事に悩みました。大学の後半で男性ホルモンの注射を始め、やっと男性として不自由なく扱われるようになりました。（内面につづく）



セクシュアルマイノリティ交流会 ハレの輪のご案内

ハレルワでは、セクシュアルマイノリティの居場所づくり、悩みの共有などを目的として、毎月第4日曜日に交流会《ハレの輪》を開催しています。セクシュアルマイノリティの方だけでなく、当事者以外の方の参加もできます。

（詳しくはHPをご覧ください）
 メール: hareruwa.info@gmail.com
 HP: https://hareruwa.tumblr.com/
 Twitter: @hareruwa_info



インタビューコーナーでは、「男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」を紹介します。